

クラス番号	913	担当教員名	渥美 浩子
テーマ	対象者を理解すること		

ゼミナール概要

<キーワード>

対象者理解、問題理解、精神保健福祉、心の相談、

<目的、内容、方法等>

対人援助、対人サービスを行う者は、支援を必要とする対象者の状況や思いが解らなければ何も成立しません。「よき理解者こそ、よき援助者」であります。しかし「**対象者理解すること**」とは、簡単にわかってしまうことではありません。本当に理解できれば、問題解決の道は自ずと見えてきます。「理解すること」はどのような事かを学びます。

また、「**問題理解**」について、障害や病気をかかえた人は全てが支援対象になるわけではありません。そこには問題となる何らかの経緯や事情が存在しています。問題化した経緯と問題状況の理解が伴うことがなければ、磨いたはずの技術も錆びたナイフでしかないのです。「**問題理解**」とはについて学びましょう。

「**精神保健福祉対策**」や「**心の相談**」はこうしてことを進める鍵となります。事例や当事者のメッセージを聴き理解し、問題の背景を学びましょう。

このことは、対象者支援を行う者の基本となる事ですが、さらに一人ひとりが生きていく基盤でもあります。誰にも身近な問題です。主体的・積極的に取り組み、具体的なことから体得していきましょう。

<授業計画>

前期

- ① 対象者（当事者、家族など）のメッセージ等を読み、当事者・家族の思いや抱える問題を知る。
- ② 対象者を理解するとはどのようなことかについて学ぶ。
- ③ レポートの作成を行う。
- ④ 見学などを通し当事者の理解を深める。
- ⑤ 合同発表会

後期

- ⑥ 問題解決に向けた働きかけの方法・手順
- ⑦ 多職種理解、チームワーク、連携について学ぶ。
- ⑧ レポートの作成を行う
- ⑨ 各グループでテーマを設定し、フィールドワーク等を行いプレゼンテーションを行う。
- ⑩ コース合同報告会
- ⑪ まとめ

担当教員からのメッセージ

精神保健福祉の分野は幅広く、精神疾患は5大疾患ともなり問題は拡大し国民的な関心事となっています。精神保健福祉に関わることは、広い視野と総合的な実践力が求められます。また、係わる事から社会が見え、自分も見えてくる等多くを学ぶことが出来ます。福祉の醍醐味を感じずる事のできる領域です。

私はこの領域に魅力を感じかわり続けてきました。皆も第一歩を踏み出してみませんか。